

## 第402回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 平成21年6月3日(水) 午前10:30より

2. 開催場所 長野放送会議室

3. 委員の出席

○委員総数 9名

○出席委員数 9名

○出席委員の氏名(敬称略・委員は50音順)

委員長 宮本 忠長

副委員長 中村 重一

副委員長 松田 幸子

委員 大橋 俊夫

委員 小出 貞之

委員 小松 正俊

委員 塚田 芳樹

委員 中條 智子

委員 丸山 仁也

4. 放送事業者側出席者

相崎 由松(代表取締役社長)

堀 眞一(専務取締役・報道局制作局担当)

関 義仁(取締役編成局・番組審議会担当)

松田 敏和(編成局長)

飯 嶋 憲彦(編成局編成部長兼視聴者室長)

山口 慶吾(番組審議会事務局長)

5. 議題

NBS月曜スペシャル

「善光寺のおぼうさん～二人の若き住職の一年～」

4月6日(月)午後7:00～7:54放送

6. 番組の内容

七年に一度の御開帳を控えた長野市の善光寺に出仕する二人の青年僧(柳澤正志さん、若麻績秋嘉さん)に焦点を当て、修行の様子や日常生活、家族との絆など、知られざる姿を一年間にわたって追った。

## 7. 審議の概要

- ・二人のお坊さんの1年を通して、今まで見たことのない善光寺の行事を知ることができた。
- ・行事の紹介が盛りだくさん過ぎた。お坊さんを二人にしたこともあって、忙しい番組になってしまった。もっと、ゆったりとした作りにして欲しかった。
- ・善光寺さんの普段の姿を映像化したことで、善光寺の奥行きが感じられた。
- ・各局とも御開帳を取り上げた番組がある中で、全く違った角度から取り上げた企画自体が面白かった。
- ・善光寺自体や行事、若い僧侶の修行、奥さんを含めた家族の生活など長期に取材がされていて、内容、放送時期ともに良く興味深い番組だった。
- ・御開帳の善光寺を取り上げるのに、若い二人の僧侶を切り口にして成功した。厳しい取材の制約、制限がある中での労作と言える。
- ・イベントの取材に偏りがちだった。もっと二人の日常にこだわって欲しかった。
- ・二人の若者が一人前のお坊さんに生長していく姿が初々しく微笑ましいと思った。
- ・二人の僧侶の奮闘振りを通して、善光寺を紹介するという趣旨では成功したと思うが、宗教家としての若い僧侶の内面や宗教的視点の善光寺の意味なども捉えて欲しかった。